

## 地方創生拠点整備交付金

## (1) 「夜明け前」リノベーション事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 令和2年度	
1	夜明け前利用者数	年度目標値	7,000人	—	—	12,000人	18,000人	22,800人
		実績値		—	—	30,841人	32,543人	32,610人
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>開業3年目になる。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で「天平の花まつり」が中止となり緊急事態宣言が発令されたことから、4月中旬から5月にかけて公園の閉鎖を実施した。これに伴い年間で一番人出がある時期に休業したが、利用者数は前年より微増している。これは、今まで実施してきたマルシェなどのイベントを通し認知度が上がっていること。また、令和元年度事業で古民家南側に大型複合遊具を設置したことが要因と推測される。</p> <p>公園を活用したマルシェイベントについては、コロナ禍ではあったが、参加者が密にならないよう出店数を10店舗以下に絞り感染対策を徹底し実施した。</p> <p>今後もこうしたイベントを通して、引き続き歴史や自然を生かした公園のPR・集客に努めていく。</p>						
	担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 令和2年度	
2	古民家カフェの売上げ	年度目標値	0円	—	—	950千円	2,375千円	4,085千円
		実績値		—	—	18,189千円	21,633千円	19,681千円
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>メイン商品はお弁当セットとドリンクだが、繁忙期以外には海鮮丼や冷やしうどんなど、飽きない商品展開を行っている。また、古民家南側に設置した大型複合遊具の供用開始に伴い、キッズメニューも充実させた。</p> <p>利用者数は増加しているが、客単価が昨年度より下がっていることから、今後も利用者のニーズに合った商品開発や、来客に繋がるイベントの開催、季節・地産地消メニューなど、付加価値のある商品を提供していく。</p>						
	担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 令和2年度	
3	しもつけ風土記の丘資料館 入館者数	年度目標値	18,671人	19,500人	20,800人	23,130人	25,630人	28,430人
		実績値		20,592人	21,121人	21,927人	19,212人	1,084人
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休館等の影響及び改修工事のため令和2年8月17日から令和3年5月1日まで閉館していたこと等により来館者が激減した。5月2日よりリニューアルオープンし、新しい生活様式にあった見学やイベントの実施方法についての工夫を行いつつ、東の飛鳥プロジェクトの推進や古民家カフェ周辺でのイベントを通して公園全体の活性化を図っていく。</p>						
	担当課	文化財課						

(2) グリムの館 施設整備事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 令和2年度
1	グリムの森・グリムの館の 来園者の増加数	114,281人	114,581人 (300人増)	114,881人 (300人増)	115,481人 (600人増)	116,181人 (700人増)	116,981人 (800人増)
	実績値		123,744人 (9,463人増)	138,119人 (14,375人増)	157,523人 (19,404人増)	130,944人 (26,579人減)	15,720人 (115,224人減)
	これまでの取組と実績値の分 析及び今後の取組	<p>(一財) グリムの里いしばしと市民団体が協働した、「グリムの森イルミネーション」をはじめ、様々な市民文化活動が活発に開催された。また、事業収益を向上させるため「お菓子の家」を新設、加えてマニアに人気の高いマンホールカードの配布を開始するなど、来園者を増加させる仕組み作りを図った。</p> <p>利用者の利便性向上や施設の長寿命化を図るため改修工事を実施した。</p> <p>コロナウイルス感染拡大を防止するため、事業の縮小、中止を余儀なくされた。また、改修工事のための閉館等があったため、来園者の大幅な減少となった。</p> <p>さらなる魅力の向上と固有の強みを持った集客施設により、一層の集客を図っていく。</p>					
	担当課	生涯学習文化課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 令和2年度
2	グリムの館多目的ホール 稼働率	83%	84%	85%	86%	87%	88%
	実績値		83%	83%	85%	78%	22%
	これまでの取組と実績値の分 析及び今後の取組	<p>文化振興の推進及び利用者ニーズに則したイベントを開催した。</p> <p>利用者の利便性向上や施設の長寿命化を図るため改修工事を実施した。</p> <p>コロナウイルス感染拡大防止をするため、事業の縮小、中止を余儀なくされた。また、改修工事のための閉館等があったため、来園者の大幅な減少となった。</p> <p>更なる利用者拡充に向けた取り組みを展開していく。</p>					
	担当課	生涯学習文化課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 令和2年度
3	お菓子の家の売上高 (改築前は売店の売上げ)	592千円	622千円	722千円	4,722千円	5,000千円	5,500千円
	実績値		574千円	701千円	6,518千円	4,639千円	1,570千円
	これまでの取組と実績値の分 析及び今後の取組	<p>平成28年度に交付決定を受け、平成29年度末に工事完了した。平成30年4月に「お菓子の家」としてオープンし営業を開始したところである。市民の文化交流の拠点であり、県内有数のコスプレの聖地でもあるグリムの森のポテンシャルを活用しながら、新たな魅力を生み出し、収益の向上につなげていく。</p>					
	担当課	生涯学習文化課					

(3) 下野薬師寺歴史館 増改築事業

重要業績評価指標 (KPI)			基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 令和2年度
1	下野薬師寺歴史館及び しもつけ風土記の丘資料館の 入館者数	年度目標値	21,000人	21,050人	21,250人	21,550人	21,850人	22,250人
		実績値		27,483人	29,773人	30,585人	25,785人	5,222人
1	これまでの取組と実績値の分 析及び今後の取組	本市には国指定の史跡下野薬師寺跡・下野国分寺・尼寺をはじめとする数多くの文化財が存在しており、現在、これらを総合的に活用したまちづくり事業である「東の飛鳥プロジェクト」を推進している。プロジェクト推進の拠点施設として下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館を位置付けており、しもつけ風土記の丘資料館については、資料館機能の充実及び重要文化財保管施設としての機能拡充を図るため、令和3年度オープンに向けてリニューアルを実施している。コロナウイルスの影響で、入館者数は激減しており、コロナ対応をし事業実施を進める。						
		担当課	文化財課					
重要業績評価指標 (KPI)			基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 令和2年度
2	下野薬師寺ボランティア会員 数 (平成29年度より薬師寺及び風 土記の丘資料館ボランティア会員 数)	年度目標値	40人	44人	46人	48人	50人	52人
		実績値		53人	77人	75人	75人	67人
2	これまでの取組と実績値の分 析及び今後の取組	平成29年度から、下野薬師寺跡の見学者に対する解説等を行う薬師寺ボランティアに加え、市内全域の文化財を解説するためのガイドを養成するために「文化財観覧ガイドボランティア」養成講座を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。 本市が推進する文化財を総合的に活用したまちづくり事業である「東の飛鳥プロジェクト」を継続的に実施していくためには、市民との協働が必要であることから、新型コロナウイルス対策をし、今後も講座の開催や登録ボランティアの支援を行い、会員数の増加に努めていく。						
		担当課	文化財課					
重要業績評価指標 (KPI)			基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 令和2年度
3	市バーチャルミュージアム 閲覧数	年度目標値	9,300件	10,000件	11,700件	14,400件	16,600件	18,100件
		実績値		13,853件	14,235件	14,129件	13,647件	13,517件
3	これまでの取組と実績値の分 析及び今後の取組	現在、文化財等の発信・公開の手法の一つとしてデジタルコンテンツを用いた情報発信を推進している。本市が進める歴史資源のAR化に関してアンテナの高い層は、パソコン等の情報機器から情報を得ることが多いと考えられる。また、本市が推進する文化財を総合的に活用したまちづくり事業である「東の飛鳥プロジェクト」の情報発信機能の強化のため、バーチャルミュージアムの機能充実を図る。						
		担当課	文化財課					